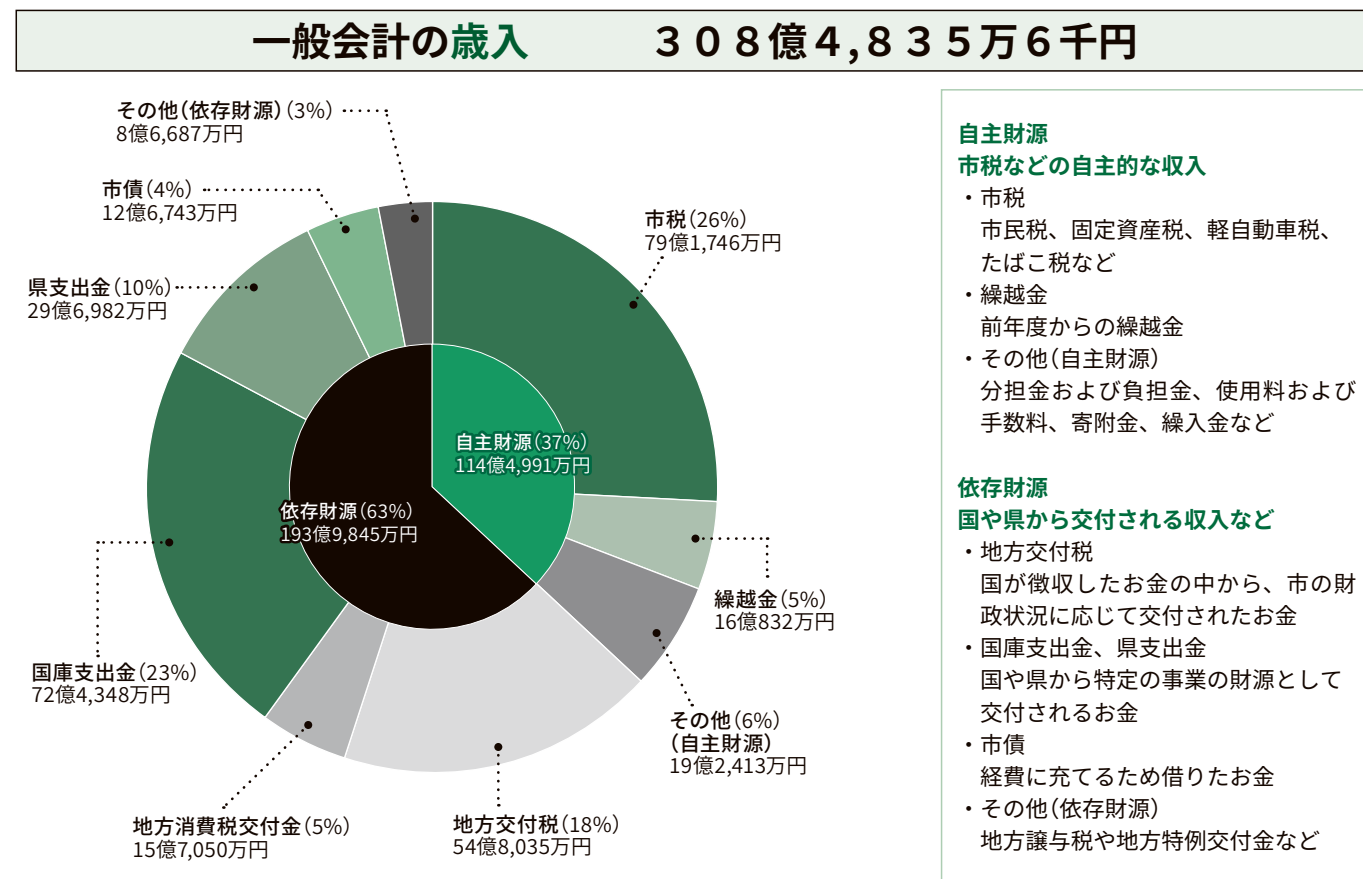


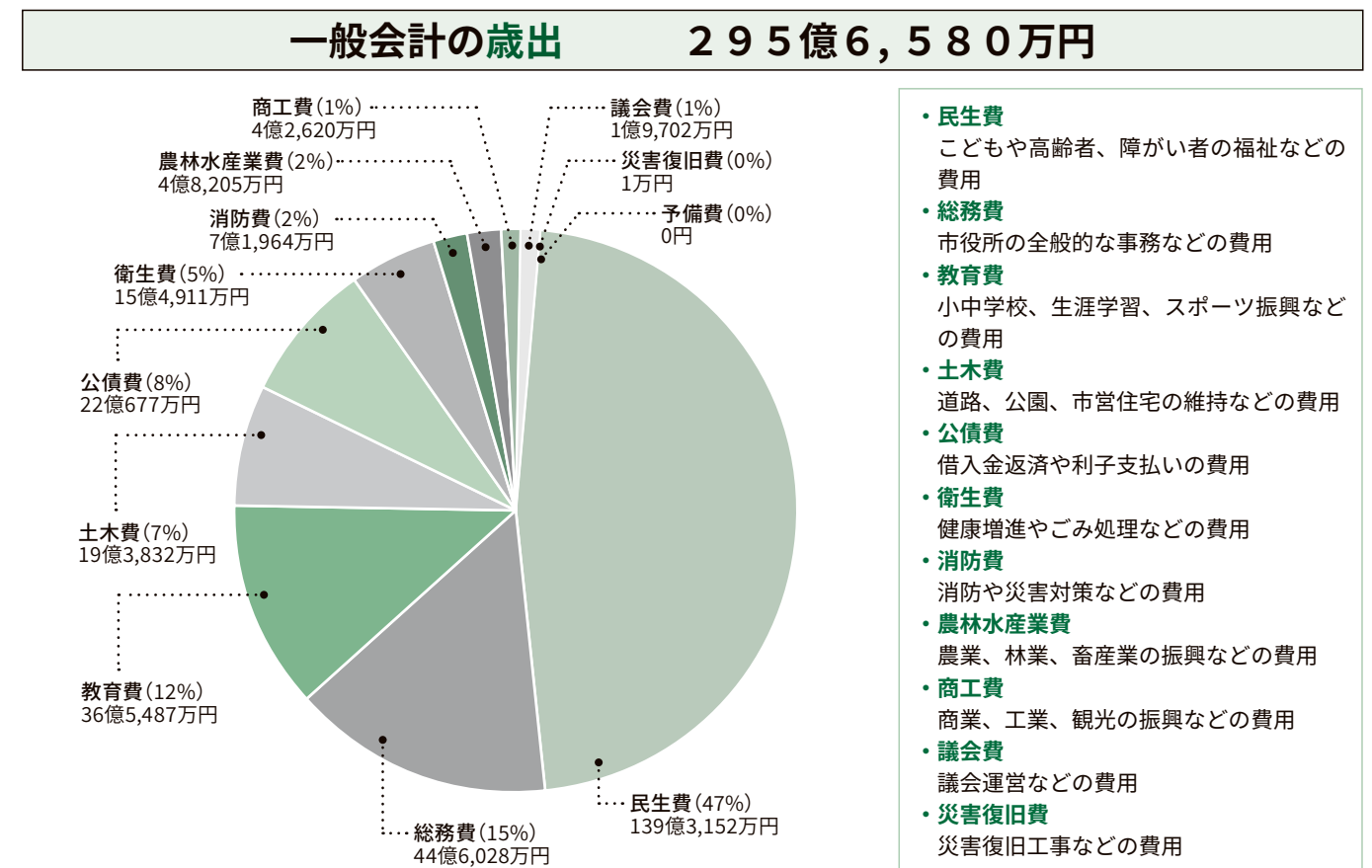
令和 6 年度の決算を報告します

一般会計の決算は、歳入総額308億4,835万6千円、歳出総額295億6,580万円で、歳入歳出差引額12億8,255万6千円となり、翌年度へ繰越すべき財源の1億4,181万8千円を差し引いた実質収支額は11億4,073万8千円となりました。



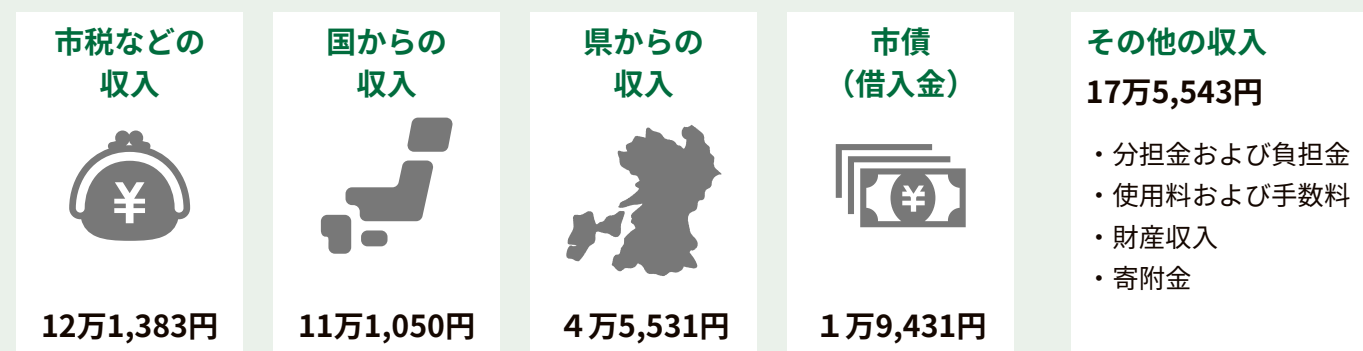
歳入は、前年度より17億9,281万円の増加となりました。増加した主な要因は、地方交付税ほか、定額給付金や物価高騰対策のための国庫支出金の増、市の財産処分に伴う財産収入が主な要因です。

市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われ市の財政が運営されているのか、市の財政状況について、令和6年度決算の概要をお知らせします。



総額は前年度と比べ、21億1,857万7千円増加しています。増加の主な要因は、総務費が15億7,368万8千円増加しており、定額減税補足給付金(6億996万円)が主な要因です。次に、民生費が2億2,621万4千円増加しており、児童手当(2億2,585万円)が主な要因です。

歳入額を市民1人あたりに換算すると **47万2,938円**



※令和7年3月末人口 65,227人で算出

歳出額を市民1人あたりに換算すると 45万3,275円

